

資料3 p8 (項目追加)

凡例: ◁ 計画 ▷ 実際の進行状況 方針決定 実施・稼働(改革の完了)

大綱上の位置付け	改革項目名 [主な担当課]	重点項目等	着手年度	原因(なぜ改革するのか)	進め方の概要(どう進めるのか)	目標	平成19年度までの実績	年度計画				
								20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1 - 3 健全な財政運営の実現	特別会計繰出金の見直し [財政部財政課]	[財]	18	特別会計のコスト削減策の検討及び料金等の見直しを行い、経営改善計画を作成して、改善計画に基づいた運営を行う。	特別会計の事業内容等を分析・検討し、一般会計からの繰出金削減に向けて、個別見直し方針を検討する。上下水道関係の特別会計は、水道局において会計統合の中で見直しを実施する。	平成21年度予算編成において一般会計からの繰出金を圧縮する	平成20年度予算編成作業において「事業内容の課題・問題点等の整理」の実施。	[当初計画]				
								[実績]				

資料3 p8 (訂正)

大綱上の位置付け	改革項目名 [主な担当課]	重点項目等	着手年度	原因(なぜ改革するのか)	進め方の概要(どう進めるのか)	目標	平成19年度までの実績	年度計画				
								20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1 - 3 健全な財政運営の実現	予算編成手法の見直し [財政部財政課・行政改革推進局]	[財]	18	歳入が減少する状況下において新たな財政需要に対応するためには、評価に基づいた予算編成によって、事業のスクラップアンドビルド及び「選択と集中」を実施する必要がある。	行政評価結果を予算編成に反映すること及び予算要求枠配分方式を実施することによってスクラップアンドビルドを加速させる。また、「重点配分施策」の指定によって、「選択と集中」によるメリハリのある予算編成を実現する。	平成20年度中に予算編成におけるPDCAサイクルを確立する	重点施策推進本部による予算編成前の早い段階から次年度予算の優先施策を決定し、それに基づき予算枠配分を実施	[当初計画]				
								[実績]				

資料3 p10 (訂正)

大綱上の位置付け	改革項目名 [主な担当課]	重点項目等	着手年度	原因(なぜ改革するのか)	進め方の概要(どう進めるのか)	目標	平成19年度までの実績	年度計画				
								20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1 - 3 健全な財政運営の実現	市税、使用料、保険料などの各種未収金対策における新たな効果的方策の検討 [財政部収納課]	[財]	18	未収金を縮減し、税負担等の公平性と自主財源を確保するため、市税等収入金の収納率向上を図る必要がある。	全庁的な未収金対策として、口座振替の推進など新たな効果的方策について、収納向上対策協議会において検討を進める。	平成21年度までに未収金の縮減と収納率の向上を図る	口座振替推進キャンペーンの実施(18年度から) 滞納整理強化月間(12月)の推進 効果的方策として電話催告業務について、先進地の事例を調査、研究	[当初計画]				
								効果的な未収金対策の検討、順次実施 [実績]	効果的な未収金対策の検討、順次実施			